

決算審査特別委員会審査レポート



総務文教分科会

野崎久雄 主査

学校現場の多忙化解消に 今後もシステム改善図る

Q 一般任用職員は年々増やしていく考えなのか。

A 定員適正化計画に基づき来年度も若干増やしていく。来年度以降は、新たに定員適正化計画を策定する中で、職員の定年延長の問題や一般任用職員と正職員の役割の見直しについて検討していかなければならないと考えている。

Q 以前、公用車のリース車両を増やしていくという話であったが、リース車両の割合が増えている。リース車両の取り扱いをどう考えるか。

A リース車両の方が点検や車検などの費用で優位性があることから、徐々に増やしていきたいと考えている。

市民福祉分科会

小林 誠 主査

相談することが解決の糸口 市民なんでも相談室

Q 地域おこし協力隊の報酬は、当初予算で約6900万円を見込んでいたが、決算額は約5200万円であった。隊員を予定通り集められなかった。

Q 校務支援システムは、学校現場の多忙化の解消に生かしてもらいたいと思うが、こういうシステム委託の場合、学校のためになるような方向付けができていくと危惧しているが、その認識はどうか。

A 毎月委託業者、情報管理課とシステム改善のための情報交換を行っている。全て三条市が必要とする帳票にカスタマイズしており、有効に事務処理ができていく。今後も現場のニーズがアチブが反映できるようシステム改善を図っていききたい。

Q 認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

ということか。また、事業開始以来の受け入れ人数と任期終了後の三条市への定住者は何人か。

A 当初28人の採用を予定していたが、24人の採用となった。地域おこし協力隊事業は、平成27年度から実施しており、これまでに51人の受け入れを行い、8人が任期終了後三条市に定住している。

Q 消費者保護事業について、特殊詐欺についての相談もあると思うが、実際に被害に遭われた方からの相談はあったのか。

A 市民なんでも相談室では、消費生活相談件数が243件あり、その中で、特殊詐欺までにはいかないが、「こういう手紙が来た」「変な電話がかかってきた」などの相談も多くある。まずは相談してもらうことが解決の糸口であり、市民なんでも相談室の存在について周知を図っていききたい。

Q 粟ヶ岳スカイランニングは、地域も盛り上がり大盛況であった。今後も継続事業として取り組んでいくのか。

A 下田地域を魅力あるものにするため、今後も取り組んでいきたい。来年も世界大会を開催する予定である。

Q 認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

経済建設分科会

山田富義 主査

ICT利用の被害防止装置等で 人的被害等の防止に効果

Q ICTを利用した被害防止装置等があるが、成果は現れてきたか。

A 鳥獣が近づいた時に光や音等で回避させる装置と箱わなによる捕獲状態を発信するシステムがあり、人的被害等防止の効果に役立っている。

Q 自宅に居ながら稼働操作できる点で熊の捕獲に有利だと考えるが、今後取り入れる計画はあるか。

A 見回りの負担軽減に寄与できるものであるが、監視員や猟友会員が直接監視することも重要であるので並行しながら鳥獣対策に当たりたい。

Q 商工業活性化事業費の番組制作委託料はどんな内容か。市の事務としてしなければならないのか。

A 市が取り組んでいる創業塾ポイントキアを受講し、市内で創業、起業した店舗について、燕三条エフエム放送でPRを行うことで後押しを行い、新規顧客開拓につなげていきたい。

Q 社会資本包括的維持管理事業が始まって2年経つが、課題は何か。

A 一定のエリアでは仕事のポリユ

ムが小さ過ぎるという意見があった。現在の道路や公園のパトロール、水路等の維持管理のみならず、もう少し業務分野を広げてもらえれば新しい雇用につながると受託業者から意見があった。

Q 認定第1号は賛成多数で、認定第2号は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



インターネットで市議会の模様を配信しています

定例会や臨時会の本会議の模様は、録画中継でご覧いただけます。なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。



タブレットの場合

三条市ホームページアドレス <https://www.city.sanjo.niigata.jp/> から **MENU** をタップ

インターネット会議中継
三條市議会インターネット会議中継トップページへ
をタップ

視聴したい会議を選択してご覧ください。
(検索は会議名、議員名、会派名、質問項目を対象としています。)